

日本印度学仏教学会 第71回学術大会

会期：2020年7月4日（土）～7月5日（日）

開催校：創価大学

開催方法：オンラインリモート会議システムによる開催

*各部会のミーティングルームのURLは、一定期間のうちに大会参加費を納入した当学会会員に対してメーリングリストを通じてお知らせします。

日本印度学仏教学会

第1部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

1	神話上のアスラと史実のアスラ	富田 真浩（日本大学非常勤講師）	9:05
2	「ガヤーの頭（gayāsīras, gayāśīṣa, gayāsīras）」の変遷	虫賀 幹華（日本学術振興会特別研究員）	9:30
3	天竺の語源に関する一考察	石崎貴比古（東京外国語大学特別研究員）	9:55
4	ジャイナ教における瞑想実践者の分類	是松 宏明（東洋大学大学院）	10:20
5	ジャイナ教白衣派聖典に対する諸注釈文献について	上田 真啓（立命館大学非常勤講師）	10:45
6	ジャイナ教の尊像崇拜儀礼と聖者伝説話	山畑 倫志（北海道科学大学准教授）	11:10
7	<i>Īśvarapratyabhijñānvayadīpikā</i> について	川尻 洋平（筑紫女学園大学准教授）	11:35
8	京都大学所蔵梵文写本106番の奥書について	吉崎 一美（東洋大学大学院）	12:00

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

開始時刻

1	パーリ修辭学書 <i>Subodhālaṅkāra</i> の隠喩理論に関する一考察	塩田 宝樹（名古屋大学大学院）	13:25
2	<i>Avadānakalpalatā</i> に見られる〈直喩〉について	山崎 一穂（中村元東方研究所専任研究員）	13:50
3	パタンジャリと非パーニニ文法学	矢崎 長潤（名古屋大学博士研究員）	14:15
4	<i>gurau vasati</i> —位格接辞の排他性含意	小川 英世（元広島大学教授）	14:40
5	ニヤーヤ学派の議論学説における「敗北の根拠」の制限	須藤 龍真（日本学術振興会特別研究員PD）	15:05
6	<i>Maṇḍanamīśra</i> による <i>Mīmāṃsāsūtra</i> 1.2.40 を巡る議論、及びヴェーダ学習命令との関連について	斉藤 茜（EFEO Pondicherry客員研究員）	15:30
7	クマーリラの王権論とその背景— <i>Rājasūya</i> の祭主資格について	吉水 清孝（東洋文庫研究員）	15:55
8	クマーリラとダルマキールティ—付 <i>Sarvadarśanasāṅgraha</i> におけるダルマキールティ	木村 俊彦（四天王寺大学名誉教授）	16:20

7月5日（日）午前の部（9:00～12:40）

開始時刻

1	MBhとプラーナ文献の間に見られるŚākadvīpaの四種姓の記述の変化について	永井 悠斗（筑波大学大学院）	9:05
2	<i>Bhaktirasāyana</i> に見られる後期アドヴァイタ学派のśraddhāとbhakti	眞鍋 智裕（早稲田大学講師）	9:30
3	Śleṣa Readings on <i>Bhāgavatapurāṇa</i> 1.1.1: Śrīnātha Cakravartī's <i>Caitanyamatamañjuṣā</i> commentary	置田 清和（上智大学助教）	9:55
4	ヤージュニャヴァルキヤの哲学的立脚点— <i>Yājñavalkyaśmṛti</i> 第三卷のアートマン論	近藤 隼人（筑波大学助教）	10:20
5	『ジャーバーラ・ウパニシャッド』における遊行の有資格者	唐 煒怡（北海道大学大学院）	10:45
6	ダルマストラ文献におけるラージャダルマセクション	沼田 一郎（東洋大学教授）	11:10
7	ヴェーダから紀元前後のサンスクリットにおける動詞brū「言う」の格支配の通時的変化	張 倩倩（東京大学大学院）	11:35
8	<i>Vādhūla-Śrautasūtra</i> 新写本に見るヴァージャペーヤ祭の特徴について—戦車競走を中心に	坪田さより（大阪大学大学院）	12:00
9	リグヴェーダ文法覚え書き	後藤 敏文（東北大学名誉教授）	12:20

第2部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

		開始時刻
1	パーリ仏教文献におけるsamasīsin再考	9:05
2	〈涅槃經〉における七覚支の修習	9:30
3	初期仏典における縁起説の輪廻的解釈について一触・受の用法を巡って	9:55
	唐井 隆徳（佛教大学総合研究所特別研究員）	
4	パーリ仏教における律と瞑想の関係について	10:20
5	骨の想（相）を増大してはならない—上座部仏教における不浄観の解釈	10:45
	BANTHAWJAI PHRAMAHABANJET（東洋大学大学院）	
	林 隆嗣（こども教育宝仙大学教授）	
6	インドラの死没の物語について	11:10
	仲宗根充修（京都文教短期大学准教授）	
7	我はどうやって消えるのか？—私のもの・私・私の我の意味	11:35
	藤本 晃（広島大学客員教授）	
8	「同事」再考	12:00
	矢島 道彦（駒澤大学客員教授）	

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

		開始時刻
1	Nidāna, Itivṛttaka and Avadāna	13:25
2	ニカーヤにおける読誦	13:50
3	インド仏典が説く、戦士を殺生行為から免れさせる3種類の方法	14:15
	杉木 恒彦（広島大学准教授）	
4	インドにおける「行像」の由縁は何か？	14:40
	岸野 亮示（京都薬科大学講師）	
5	律文献からみるサンガの飢饉への対応	15:05
	井上 綾瀬（日本学術振興会特別研究員）	
6	『十誦律』と『十誦比丘波羅提木叉戒本』の再考察	15:30
	李 薇（北京大学研究員）	
7	和尚と阿闍梨	15:55
	生野 昌範（国際仏教学大学院大学特任研究員）	
8	avadānamālā に借用された Śāṅkarasvāmin の仏讃テキスト	16:20
	岡野 潔（九州大学教授）	

7月5日（日）午前の部（9:00～12:20）

		開始時刻
1	衆賢に帰せられるチベット語訳俱舍論注釈書の成立事情 —プトン仏教史説の再検討	9:05
	小谷 昂久（東京大学大学院）	
2	説一切有部の形色実有説について—衆賢の『順正理論』における形色の実有証明を中心に	9:30
	劉 婷婷（龍谷大学大学院）	
3	新出俱舍論偈写本に見るカシュミール有部的改変	9:55
	田中 裕成（佛教大学大学院）	
4	世俗と変壊	10:20
	木村 紫（立正大学非常勤講師）	
5	有部における中有可転説の考察—譬喩師説と『瑜伽論』	10:45
	石田 一裕（大正大学非常勤講師）	
6	近世日本のアビダルマ研究におけるインド仏教史認識	11:10
	一色 大悟（東京大学助教）	
7	『六十頌如理論注』におけるアビダルマ教学の位置づけについて	11:35
	劉 暢（国際仏教学大学院大学）	
8	『中観五蘊論』にみられる経典引用について	12:00
	横山 剛（日本学術振興会特別研究員PD）	

第3部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

- | | | | |
|---|--|----------------------------------|-------|
| 1 | 『大智度論』における首楞嚴三昧と般舟三昧の関係 | 澤崎 瑞央（大谷大学大学院） | 9:05 |
| 2 | 「稲苺経」という經典の名称について | 崎山 忠道（東洋大学大学院） | 9:30 |
| 3 | 兜率天とその役割 | 打本 和音（京都造形芸術大学非常勤講師） | 9:55 |
| 4 | <i>Prajñāpāramitāhṛdaya</i> のサンスクリット起源の可能性 | 張本 研吾（マヒドン大学Assistant professor） | 10:20 |
| 5 | 般若経における慈悲 | 鈴木 健太（北海道武蔵女子短期大学教授） | 10:45 |
| 6 | 後期インド仏教における正法五千年説 | 庄司 史生（立正大学准教授） | 11:10 |
| 7 | 『如来蔵経』における複合語tathāgata-garbha（如来蔵）解釈考 | 斎藤 明（国際仏教学大学院大学教授） | 11:35 |
| 8 | 梵文『無量寿経』「往観偈」末の3偈、特に最後の第21偈について | 岩松 浅夫（創価大学名誉教授） | 12:00 |

7月4日（土）午後の部（13:20～17:05）

開始時刻

- | | | | |
|---|--|--|-------|
| 1 | 「愛樂」か、「供養」か？—仏典翻訳に関する一考察 | 曾 柔佳（東京大学特任研究員） | 13:25 |
| 2 | 『瑜伽師地論』「摂決摂分」におけるアーラヤ識の存在論証をめぐる | 鄭 景珍（中央僧伽大学大学院） | 13:50 |
| 3 | 「摂異門分」の構成に関する一考察—『泡沫経』を例に | 中山 慧輝
（京都大学大学院・日本学術振興会特別研究員DC） | 14:15 |
| 4 | 世親の「漫談」—『釈軌論』からみた説法者養成の一側面 | 上野 牧生（大谷大学講師） | 14:40 |
| 5 | 菩薩の戒の甚深殊勝について—『摂大乘論』第VI章「増上戒品」における教説の再構成を中心に | 嶋本 弘徳（龍谷大学大学院） | 15:05 |
| 6 | 修行者としての無著が到達した階位について | Vo Thi Van Anh
（ベトナム仏教大学専任講師・龍谷大学世界仏教文化研究センター客員研究員） | 15:30 |
| 7 | VikalpaとPratibhāsaの関係について | 北野新太郎（九州大学非常勤講師） | 15:55 |
| 8 | 『五蘊論安慧釈』における有身見についての考察—無我論・刹那滅論と関連して | 那須 円照
（龍谷大学世界仏教文化研究センター客員研究員） | 16:20 |

7月5日（日）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|-------|
| 1 | Classical Chinese Texts as a Tool for Creating a New Critical Edition of the Pāli Canon: Examples from the <i>Dīghanikāya</i> and <i>Majjhimanikāya</i> | CHAOWARITHREONGLITH Bunchird（DTP研究員） | 9:05 |
| 2 | A Problem with Textual Division of <i>Āṅguttara-nikāya</i> as Found in Manuscript Transmission: A Case Study from Khom and Tham Script manuscripts | Srisetthaworakul Suchada（DTP研究員） | 9:30 |
| 3 | Two Sanskrit manuscripts newly discovered in the CEL Collection: <i>Tathāgatamahākaraṇānirdeśa</i> and <i>*Yogācārabhūmivākyā</i> | Ye Shaoyong（北京大学副教授） | 9:55 |
| 4 | 新出梵本* <i>Madhyamakayogācārabalābalaparīkṣā</i> について | 李 学竹（中国蔵学研究中心研究員） | 10:20 |
| 5 | <i>Arthavinīścayasūtranibandhana</i> の梵本写本について | 堀内 俊郎（東洋大学東洋学研究所客員研究員） | 10:45 |
| 6 | 大智度論偈と三啓集偈 | 松田 和信（佛教大学教授） | 11:10 |
| 7 | ハリヴァルマン王第8年筆写『二万五千頌般若経』サンスクリット写本について | 堀 伸一郎
（国際仏教学大学院大学国際仏教学研究所研究員） | 11:35 |
| 8 | サンスクリット本『カルマ・ヴィバンガ』の新たに同定された写本について | 工藤 順之（創価大学国際仏教学高等研究所教授） | 12:00 |
| 9 | サッジャナとマハージャナ—11世紀カシュミールの弥勒論書関連文献群 | 加納 和雄（駒澤大学准教授） | 12:20 |

第4部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

- | | | | |
|---|--|--|-------|
| 1 | 龍樹の『中論』第二章について—初期経典「相応部」を中心に | | 9:05 |
| | | Rev Wembuwewe Sumanasara Thero （大谷大学大学院） | |
| 2 | 『中論』第1章第3偈の解釈と他生否定の歴史的展開 | 吉水千鶴子（筑波大学教授） | 9:30 |
| 3 | <i>Vigrahavyāvartanī</i> の偈数に関して | 王 楠（国際仏教学大学院大学） | 9:55 |
| 4 | 『般若灯論』におけるミーマーンサー学派批判 | 田村 昌己（日本学術振興会特別研究員PD） | 10:20 |
| 5 | 『般若燈論複註』第9章のサーンキヤ説考察 | 鄭 祥教（金剛大學校准教授） | 10:45 |
| 6 | 『大乘広百論釈論』における常住性批判 | 渡辺 俊和（國學院大學助教） | 11:10 |
| 7 | 『入中論』と『プラサンナパダー』 | 米澤 嘉康（大正大学准教授） | 11:35 |
| 8 | Some amendments to the new critical edition of <i>Prasannapadā</i> Chapter One | | 12:00 |
| | | WANG Junqi（中国人民大学講師） | |

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

開始時刻

- | | | | |
|---|---------------------------------------|----------------------------------|-------|
| 1 | 「欺かないこと」に対するダルモッタラの解釈—彼の「目的実現」理解との関連性 | | 13:25 |
| | | 繆 寿楽
(広島大学大学院・日本学術振興会特別研究員DC) | |
| 2 | ダルモッタラの <i>drṣṭāntābhāsa</i> 論 | 児玉 瑛子（大正大学大学院） | 13:50 |
| 3 | 仏教論理学派が批判するジャイナ教論師について | 小林 久泰（筑紫女学園大学准教授） | 14:15 |
| 4 | ダルマキールティによる <i>anyāpoha</i> の言い換えについて | 秦野 貴生（大谷大学助教） | 14:40 |
| 5 | シャーキャブッディのアポーハ論の思想史的位置付け | 石田 尚敬（愛知学院大学准教授） | 15:05 |
| 6 | 知の有形象性をめぐるクマーリラとプラジュニャーカラグプタの対論 | | 15:30 |
| | | 三代 舞（日本学術振興会特別研究員PD） | |
| 7 | 全知者の根本論証式—『タットヴァ・サングラハ』3440—3441偈 | | 15:55 |
| | | 佐藤 智岳（九州大学大学院） | |
| 8 | 再考：ディグナーガの <i>pakṣābhāsa</i> 説 | 稲見 正浩（東京学芸大学教授） | 16:20 |

7月5日（日）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

- | | | | |
|---|--|------------------------------|-------|
| 1 | 「マーヤー」と「マハーマーヤー」—ラトナーカラシャーンティの女神解釈 | | 9:05 |
| | | 大観 慈聖（京都大学大学院修了） | |
| 2 | アーナンダガルバの説く四種のヨーガとマハーヨーガ | 伊集院 栞（東京大学大学院） | 9:30 |
| 3 | インド密教における末世観と成就 | 藤井 明（東洋大学大学院修了） | 9:55 |
| 4 | チベット語文献から回収された『世間出世間金剛タントラ』の佚文 | | 10:20 |
| | | 徳重 弘志
(高野山大学密教文化研究所専任研究員) | |
| 5 | 金剛乘における修道論の分岐点となる菩提心の漏と不漏: 時輪教のヴァジラパーニと
四印契説のヴァジラパーニの所論から | 静 春樹（高野山大学密教文化研究所研究員） | 10:45 |
| 6 | いわゆるバドラパーダ・スミリティジュニャーナキールティ流について | | 11:10 |
| | | 菊谷 竜太（京都大学白眉センター特定准教授） | |
| 7 | 五護陀羅尼 <i>Pañcarakṣā</i> の構成について | 園田沙弥佳（目白大学助手） | 11:35 |
| 8 | 『カーランダ・ヴェーハ・スートラ』における六字真言と如意宝珠 | | 12:00 |
| | | 佐久間留理子（大阪観光大学教授） | |

第5部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

		開始時刻
1	チベット語の音声論について 班青 東周（広島大学大学院）	9:05
2	敦煌本蔵漢語彙集P.t.1257について 裴 長春（浙江師範大学講師）	9:30
3	ジャムヤンシェーパによる止観修習における諸学派及び密教修習の比較 青原 彰子（広島大学大学院）	9:55
4	ジャムヤンシェーパによる「三転法輪」解釈の一考察 才 華加（広島大学大学院）	10:20
5	On Pa tshab Nyi ma grags's way of citing the <i>Mūlamadhyamakakārikā</i> in his commentary Kamarid Dörte（国際仏教学大学院大学）	10:45
6	欽定蔵蒙訳語集『賢者の源』の訳語の有効性—『菩提道次第大論』に引用される 『入菩薩行論』の訳語を中心として ARILDII BURMAA（大谷大学大学院）	11:10
7	テンパンマ系統チベット大蔵経所収『金光明経』について 日野 慧運（武蔵野大学講師）	11:35
8	吐蕃末期の大校閲翻訳師 原田 覺（元国土舘大学教授）	12:00

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

		開始時刻
1	アティシャが説いた密教教義—『金剛座金剛歌』(<i>Vajrāsana-vajragīti</i>)と『行歌』(<i>Caryāgīti</i>)を中心に PAK HEE EON（筑波大学大学院）	13:25
2	雷と雹を降らせる儀礼—プリ文献の儀礼文献に関する研究 井内 真帆（神戸市外国語大学客員研究員）	13:50
3	『マニ・カンブン』における如来蔵思想 楨殿 伴子 （身延山大学国際日蓮学研究所研究員）	14:15
4	Dīpaṃkaraśrījñānaに帰せられる死と転生の儀軌 望月 海慧（身延山大学教授）	14:40
5	密教僧不動金剛作の漢文儀軌に混在するチベット仏教要素について 徐 東軍（高野山大学大学院）	15:05
6	『方広多荘嚴経』の満州語翻訳について 楊 曉華（中国内モンゴル民族大学講師）	15:30
7	隋唐時代に於ける如来蔵縁起思想—『勝鬘経』諸注釈書を中心にして 楊 玉飛 （宜春学院江西宗教問題研究中心準教授）	15:55
8	『涅槃経集解』における如来蔵 張 文良（中国人民大学教授）	16:20

7月5日（日）午前の部（9:00～12:40）

		開始時刻
1	菩提流志訳『宝雨経』と『釈摩訶衍論』—武則天に関する記述を中心に— 関 悠倫（東洋大学東洋学研究所客員研究員）	9:05
2	梁宝唱『名僧伝』に見られる「師」・「苦節」の区別について 李 尚曄（スタンフォード大学大学院）	9:30
3	吉蔵における浄穢をめぐる議論 工藤 量導（大正大学非常勤講師）	9:55
4	敦煌文献中の三一権実論争関係資料 小野嶋祥雄（龍谷大学非常勤講師）	10:20
5	道宣の感応思想と住持三宝—中国仏教の正統性再構築の試みとして 倉本 尚徳（京都大学人文科学研究所准教授）	10:45
6	玄奘三蔵と『西遊記』—孫悟空・猪八戒・沙悟浄の原型をめぐって— 吉村 誠（駒澤大学教授）	11:10
7	九州国立博物館蔵写本・文軌『因明入正理論疏』巻一について 師 茂樹（花園大学教授）	11:35
8	義寂と勝莊の『梵網経』註釈の比較 法長（李忠煥）（海印寺僧伽大学教授）	12:00
9	韓国普光寺所蔵『仁王般若波羅蜜経』について—新羅太賢の注釈書の可能性 佐藤 厚（東洋大学東洋学研究所客員研究員）	12:20

第6部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

		開始時刻
1	中国南北朝期における無生法忍説の受容について—一行位説を手掛かりとして	9:05
	魏 藝（龍谷大学大学院）	
2	中国南北朝時代の「大経」	9:30
	王 征（中山大学副研究員）	
3	これまで顧みられなかった道邃『止観記中異義』の一写本について	9:55
	則 慧（国際仏教学大学院大学）	
4	湛然における唯心	10:20
	柏倉 明裕（大谷大学大学院修了）	
5	天台の止観における負の側面への対処法とその起源について	10:45
	蓑輪 顕量（東京大学教授）	
6	明曠『天台菩薩戒疏』の最澄・光定への影響	11:10
	大津 健一（創価大学大学院）	
7	宋代天台の理事二観論に関する一問題—四種三昧との対応をめぐって	11:35
	久保田正宏	
	（早稲田大学大学院・立正大学非常勤講師）	
8	『覚意三昧』に見られる禅観	12:00
	大松 久規（愛知学院大学専任講師）	

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

		開始時刻
1	善導における本願力の解釈	13:25
	小川 法道（佛教大学大学院）	
2	『観無量寿経』第八像観と「禅経類」との関係について	13:50
	小笠原亜矢里（武蔵野大学大学院）	
3	『観無量寿経』における視点と展開	14:15
	角野 玄樹（佛教大学非常勤講師）	
4	曇鸞の修道階位をめぐる諸問題	14:40
	遠山 信証（浄土真宗本願寺派宗学院研究生）	
5	〈無量寿経〉と〈阿弥陀経〉の成立関係について	15:05
	肖 越（佛教大学総合研究所特別研究員）	
6	道綽と智儼の往生論	15:30
	里見 奎周（大正大学大学院）	
7	中国浄土教における新訳経論の受容—二諦説から三性説への移行	15:55
	長尾 光恵（大正大学総合仏教研究所研究生）	
8	『浄土五会念仏誦経観行儀』に見える誓願思想	16:20
	加藤 弘孝（佛教大学非常勤講師）	

7月5日（日）午前の部（9:00～12:40）

		開始時刻
1	大悲と観世音菩薩の結びつきについて—漢訳「入法界品」と『請観世音菩薩消伏毒害陀羅尼呪経』を中心として	9:05
	陳 怡安（駒澤大学大学院）	
2	元暉の出家年齢と義湘の出家年齢	9:30
	愛宕 邦康（浙江仏学院客座教授）	
3	長沼賢海写『華嚴経論』断簡について	9:55
	都河 陽介（龍谷大学大学院）	
4	『自防遺忘集』の新出部分に関する一考察	10:20
	道津 綾乃（神奈川県立金沢文庫主任学芸員）	
5	石壁伝奥の検討	10:45
	平 燕紅（国際仏教学大学院大学）	
6	慧苑の華嚴教学と『大乘起信論』	11:10
	張 宇心（中国人民大学大学院）	
7	李通玄における「入法界品」理解について—入法界衆を中心として	11:35
	隆 明（龍谷大学大学院）	
8	圭峰宗密における『六妙門』の受容	12:00
	釈 悟灯（中国浙江工商大学講師）	
9	中国仏教十宗説の成立—赫舍里の「八宗二行」から楊文会の『十宗略説』へ	12:20
	陳 継東（青山学院大学教授）	

第7部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

1	十方寺の起源について	羅旌超（道悟）（花園大学大学院）	9:05
2	菩提流志訳『須摩提経』の流伝と入蔵一七寺一切経本を中心として		
		張 美僑（国際仏教学大学院大学）	9:30
3	シンガポールにおける仏教の現況	辻本 臣哉（武蔵野大学大学院修了）	9:55
4	『楞伽師資記』の依用文献について—新出石山寺蔵『跋陀三蔵安心法』を手掛かりに	通然 （東洋大学大学院・日本学術振興会特別研究員DC）	10:20
5	知訥撰『勸修定慧結社文』における延寿の著作からの影響	尹 鮮昊（駒澤大学大学院）	10:45
6	真歇清了は黙照邪師であったのか	梁 特治（花園大学国際禅学研究所客員研究員）	11:10
7	永明延寿の思想・実践における浄土的要素	柳 幹康（花園大学国際禅学研究所准教授）	11:35
8	荷沢神会の著作『壇語』の成立時期について	伊吹 敦（東洋大学教授）	12:00

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

開始時刻

1	道元における諸法と実相について	米野 大雄（早稲田大学大学院）	13:25
2	道元禅師の「海印三昧」観について	菅野 優子（駒澤大学大学院）	13:50
3	『正法眼蔵』「嗣書」巻における洞済の嗣書について	廣瀬 良文（駒澤大学非常勤講師）	14:15
4	『正法眼蔵』における複文表現の特徴に関する一考察	藤川 直子（駒澤大学大学院）	14:40
5	『法華経』と道元—「唯仏与仏」の解釈を中心として	新井 一光（曹洞宗総合研究センター研究員）	15:05
6	真字『正法眼蔵』の撰述意図について—「門人の参究の書」説の検証を中心として	秋津 秀彰（曹洞宗総合研究センター研究員）	15:30
7	川越孝顕寺における『正法眼蔵』の書写について	中野 何必（駒澤大学大学院研究生）	15:55
8	『伝光録』写本群の相互関係—龍泉寺本の紹介を兼ねて	横山 龍顯（愛知学院大学専任講師）	16:20

7月5日（日）午前の部（9:00～12:40）

開始時刻

1	虎関師錬著『正修論』における禅風批判について—葛藤禅批判を中心に	佐久間祐惟（東京大学大学院）	9:05
2	虎関師錬による日本禅宗の正統たる地位確立—東福寺の伽藍復興を中心に		9:30
		鄭 美景（花園大学国禅学研究所客員研究員）	
3	道元が受け継いだ栄西流の儀式について	舘 隆志（駒澤大学専任講師）	9:55
4	『一切経音義』日本古写本から見た新旧訳の『阿毘達磨俱舍論』		10:20
		李 乃琦（日本学術振興会外国人特別研究員）	
5	日本古写一切経諸本の相互関係—〈阿闍世王経〉漢訳2種を対象として		10:45
		宮崎 展昌（鶴見大学仏教文化研究所准教授）	
6	『法門大綱』の禅思想	高柳さつき（中村元東方研究所専任研究員）	11:10
7	中世禅宗の他宗への反論	古瀬 珠水（鶴見大学仏教文化研究所客員研究員）	11:35
8	白隠慧鶴と秋葉信仰	武井 慎悟（鶴見大学仏教文化研究所特任研究員）	12:00
9	日本禅林の坐禅修行	小川 太龍（花園大学准教授）	12:20

第8部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

- | | | | |
|---|---|---------------------------------|-------|
| 1 | 親鸞に現れた観音勢至と弥陀—聖徳太子と法然を中心に | 廣田 至（大谷大学大学院） | 9:05 |
| 2 | 『選択集』「夫速欲離生死」をめぐる親鸞の解釈について—『尊像真像銘文』の「おもへ」を中心に | 鶴留 正智（大谷大学大学院） | 9:30 |
| 3 | 親鸞真筆『唯信鈔文意』に関する一考察—『唯信鈔』右左訓との比較から | 深見 慧隆（龍谷大学大学院） | 9:55 |
| 4 | 『教行信証』における「ヲ」の仮名遣いについて | 青柳 英司
(大谷大学真宗総合研究所東京分室PD研究員) | 10:20 |
| 5 | 「真仏土文類」における「大悲の誓願」の解釈について | 西村 一樹（浄土真宗本願寺派宗学院研究員） | 10:45 |
| 6 | 親鸞における聞名と称名の関係についての一考察 | 山崎 隆弘（浄土真宗本願寺派宗学院研究生） | 11:10 |
| 7 | 『大無量寿経』の信一人間心の超克 | 東山 公真（大谷大学大学院） | 11:35 |
| 8 | 親鸞における善導浄土教の受容 | 貫名 譲（大阪大谷大学教授） | 12:00 |

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

開始時刻

- | | | | |
|---|------------------------------|-----------------------|-------|
| 1 | 如来の本願、称名に顕る一浄土真宗における自利利他とは何か | 本多 正弥（大谷大学大学院） | 13:25 |
| 2 | 真宗における「調熟の光明」についての一考察 | 安部 弘得（龍谷大学大学院） | 13:50 |
| 3 | 唯円による親鸞思想理解と教義的立場 | 木村元太郎（九州大学大学院） | 14:15 |
| 4 | （歎異抄）原本は私信。蓮如が聖教化し公開 | 尾野 義宗（妙延寺前住職） | 14:40 |
| 5 | 仏光寺本『親鸞伝絵』のスタンス | 山口 務（中村元東方研究所東方学院講師） | 15:05 |
| 6 | 存覚における神祇理解 | 藤原 智之（同朋大学大学院） | 15:30 |
| 7 | 存覚と法華宗徒の交渉について | 田中 了輔（龍谷大学大学院） | 15:55 |
| 8 | 近世真宗伝道における円光寺浄明に関する一考察 | 奥田 桂寛（浄土真宗本願寺派宗学院研究員） | 16:20 |

7月5日（日）午前の部（9:00～12:40）

開始時刻

- | | | | |
|---|--|-----------------------|-------|
| 1 | 『五輪九字秘釈』における「五臓神形図」の考察 | 範 駿（高野山大学大学院） | 9:05 |
| 2 | 『根吼抄』にみる赤白二諦と「邪見」—近世真言宗における胎生学的教説の意義 | 亀山 隆彦（龍谷大学非常勤講師） | 9:30 |
| 3 | 石泉僧叡の「助正論」と「行信論」との接点 | 伊藤 雅玄（浄土真宗本願寺派宗学院研究員） | 9:55 |
| 4 | 大正期仏教教団の門徒教化への新たな取り組み—真宗大谷派「仏教会」を中心にして | 谷釜 智洋（東洋大学大学院） | 10:20 |
| 5 | 金子大栄における「心仏及衆生」三無差別説 | 伊藤 真（佛教大学非常勤講師） | 10:45 |
| 6 | 三島海雲と『仏教聖典』 | 栗本 真好（花園大学大学院） | 11:10 |
| 7 | 多賀法印流の思想について | 進藤 浩司（愛知学院大学非常勤講師） | 11:35 |
| 8 | ハンセン病医師小笠原登の仏教 | 川口 淳（同朋大学仏教文化研究所所員） | 12:00 |
| 9 | 日本統治期の台湾における真言宗の行旅病人救済—護国十善会無料宿泊所を中心に | 林 櫛嫻（国立台北教育大学非常勤助理教授） | 12:20 |

第9部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

- | | | | |
|---|------------------------------------|-----------------------|-------|
| 1 | 東大寺二月堂修二会所修『法華懺法』における「普賢讃」について | | 9:05 |
| | | 矢島 礼迪（早稲田大学大学院） | |
| 2 | 漢語『三部経釈』における新層古層説の再検討 | 井上 慶淳（龍谷大学大学院） | 9:30 |
| 3 | 『往生要集義記』における法然の『往生要集』解釈—持戒の要否をめぐって | | 9:55 |
| | | 下端 啓介（佛教大学大学院） | |
| 4 | 『為盛発心因縁集』における法然の念仏往生思想について | 大久保慶子（佛教大学大学院） | 10:20 |
| 5 | 阿弥陀仏観と仏性から見た法然浄土思想 | 一ノ瀬和夫（佛教大学大学院） | 10:45 |
| 6 | 『四卷伝』と『琳阿本』の関係 | 長谷川浩文（浄土宗西山深草派宗学院助手） | 11:10 |
| 7 | 法然とその門下における感応の意義 | 谷治 暁（浄土真宗本願寺派宗学院研究生） | 11:35 |
| 8 | 専修寺本『往生講式』について | 常磐井慈裕（中村元東方研究所東方学院講師） | 12:00 |

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

開始時刻

- | | | | |
|---|------------------------------------|----------------------------------|-------|
| 1 | 證空に見る浄土教的実践とその評価の問題—浄土真宗への影響にも着目して | | 13:25 |
| | | 中村 玲太（親鸞仏教センター嘱託研究員） | |
| 2 | 『広疑瑞決集』における仏と神明 | 前島 信也
（国際仏教学大学院大学日本古写経研究所研究員） | 13:50 |
| 3 | 西誉聖聡の教学における「他力実体」の教主について | 佐伯 憲洋（早稲田大学大学院） | 14:15 |
| 4 | 小童寺所蔵阿弥陀二十五菩薩来迎図について | 高間由香里（大阪教育大学専任講師） | 14:40 |
| 5 | 新義教学における自性会と加持世界—聖憲撰『大疏百条第三重』を中心に | | 15:05 |
| | | 鈴木 雄太（智山伝法院常勤研究員） | |
| 6 | 東密『瑜祇経』註疏における自性障と微細妄執 | 大鹿 眞央（大正大学専任講師） | 15:30 |
| 7 | 無量寿院長覚の心法色形 | 山本 昌芳（高野山大学大学院） | 15:55 |
| 8 | 空海と永忠と嵯峨帝の交流について | 中村 本然（国際科学振興財団特任研究員） | 16:20 |

7月5日（日）午前の部（9:00～12:40）

開始時刻

- | | | | |
|---|--|----------------------------------|-------|
| 1 | Zenju善珠's theory of tathatā真如 in the <i>Hōongikyō</i> 法苑義鏡 | 李 子捷（ロンドン大学PD博士研究員） | 9:05 |
| 2 | 『法勝寺御八講問答記』所収の三論宗関連論義 | 田戸 大智
（早稲田大学・国際仏教学大学院大学非常勤講師） | 9:30 |
| 3 | 法勝寺御八講における天台論義の傾向について | 松本 知己（早稲田大学非常勤講師） | 9:55 |
| 4 | 平安時代の「結縁経」追考 | 山口希世美（佛教大学大学院） | 10:20 |
| 5 | 日本における看護・臨終の身体性—円頓戒「戒体」と動作の接続 | | 10:45 |
| | | 神居 文彰（平等院ミュージアム鳳翔館館長） | |
| 6 | 平安時代後期における修善 | 田中 夕子（佛教大学総合研究所特別研究員） | 11:10 |
| 7 | 四臂堅牢地神の形成と『撰寿経』 | 田中 亜美（早稲田大学大学院） | 11:35 |
| 8 | 明恵の成仏観 | 米澤実江子（浄土宗総合研究所研究スタッフ） | 12:00 |
| 9 | 東大寺図書館所蔵の凝然『華嚴五教賢聖章』 | 中西 俊英
（東大寺総合文化センター華嚴学研究所研究員） | 12:20 |

第10部会

*は代替手段による発表

7月4日（土）午前の部（9:00～12:20）

開始時刻

1	日蓮著『立正安国論』における引用經典をめぐって	矢吹 康英（立正大学日蓮教学研究所研究員）	9:05
2	日蓮教学用語「事具三千」に関する一考察—天台論義の視点から	三浦 和浩（興隆学林専門学校准教授）	9:30
3	新出資料日柔筆『録外御書』に見る「十王讃嘆抄」	松岡 正次（佛教大学大学院修了）	9:55
4	『日蓮聖人註画讃』の諸本について	寺尾 英智（立正大学教授）	10:20
5	堅樹院日寛における造仏論批判	水谷 進良（日蓮宗現代宗教研究所研究員）	10:45
6	大正期における日蓮宗の門下統合活動	安中 尚史（立正大学教授）	11:10
7	近代自由主義者の日蓮観—石橋湛山を中心に	戸田 教徹（立正大学大学院）	11:35
8	近代日本における日蓮信仰の諸相	三輪 是法（立正大学教授）	12:00

7月4日（土）午後の部（13:20～16:40）

開始時刻

1	頓漸をめぐる最澄の教判論について	武本宗一郎（早稲田大学大学院）	13:25
2	安然における『仏性論』の円教義的解釈について	土倉 宏（東洋哲学研究所委嘱研究員）	13:50
3	『灌頂三昧耶戒』成立の一考察	寺本 亮晋（大正大学非常勤講師）	14:15
4	『諸阿闍梨真言密教部類惣録』の写本系譜について	趙 新玲（高野山大学大学院）	14:40
5	日蓮における「教」の受容	深谷 恵子（立正大学日蓮教学研究所研究員）	15:05
6	起顕竟の法門—囑累品の位置づけ	桑名 法晃（身延山大学助教）	15:30
7	日蓮における観心の本尊と本門の本尊	花野 充道（早稲田大学・法華仏教研究会主宰）	15:55
8	日蓮の『秀句十勝鈔』について	渡邊 寶陽（立正大学特別荣誉教授）	16:20

特別部会

—『法華経』の文献・思想・文化—

7月5日（日）午前の部（9:00～12:40）

開始時刻

1	梵文法華経における梵語化検証の可能性—『ケルン・南條本』に示された異読を中心に	西 康友（中央学術研究所主幹）	9:05
2	『法華経』（龍女献珠譚）による「速疾成仏」思想の再考	白 景皓（広島大学大学院）	9:30
3	竺道生の『法華経』解釈—一乗思想を中心に	早川 貴司（四天王寺高等学校非常勤講師）	9:55
4	天台智顗における『法華経』と『涅槃経』の関係—吉蔵との比較を含んで	菅野 博史（創価大学教授）	10:20
5	興聖寺一切経本『妙法蓮華経憂波提舍』について	浅野 学（国際仏教学大学院大学）	10:45
6	広蔵院日辰の『法華論』受容について	神田 大輝（立正大学助教）	11:10
7	元暁『法華宗要』と智顗・吉蔵の関係について	李 四龍（北京大学教授）	11:35
8	日蓮と説話 僧祥『法華伝記』との比較	岡田 文弘（身延山大学特任講師）	12:00
9	慈恩大師基の救済観—『法華経』観世音普門品の解釈を中心に	水谷 香奈（東洋大学非常勤講師）	12:20

日本印度学仏教学会第71回学術大会パネル発表

7月5日(日)13:40～16:10

パネル発表A

テーマ：『阿毘達磨集論』の伝承 —インドからチベットへ、そして過去から未来へ—

代表：高橋 晃一（東京大学准教授）

- 1 『阿毘達磨集論』の梵文写本について 李 学竹
(中国藏学研究中心宗教研究所研究員)
- 2 『阿毘達磨集論』に於ける十二支縁起と阿頼耶識の再考察 バイヤー アヒム (金沢星稜大学准教授)
- 3 『阿毘達磨集論』新出史料によって得られた知見と問題 吉田 哲 (龍谷大学准教授)
- 4 ションス・チャンチュプ『阿毘達磨集論』註釈の思想史上の位置づけ 彭毛才旦 (広島大学大学院)
- 5 チベット撰述注釈書の構造化記述について—XMLマークアップを中心に 崔 境眞 (東京大学特任研究員)

パネル発表B

テーマ：「人間の尊厳」と仏教思想

代表：前川 健一（創価大学教授）

- 1 「人間の尊厳」の諸相と仏教思想からの応答 前川 健一 (創価大学教授)
- 2 「人間の尊厳」の仏教的拠り所 木村 文輝 (愛知学院大学教授)
- 3 「仏教的尊厳」と人権思想 新田 智通 (大谷大学准教授)
- 4 仏教の尊厳思想への応答の試み 藤丸 智雄
(浄土真宗本願寺派総合研究所副所長)